

【第4分科会】「広報活動」

地域に発信する広報活動をめざして

報告発表者 筑前町立三並小学校PTA広報委員長 内田 智子

1. はじめに

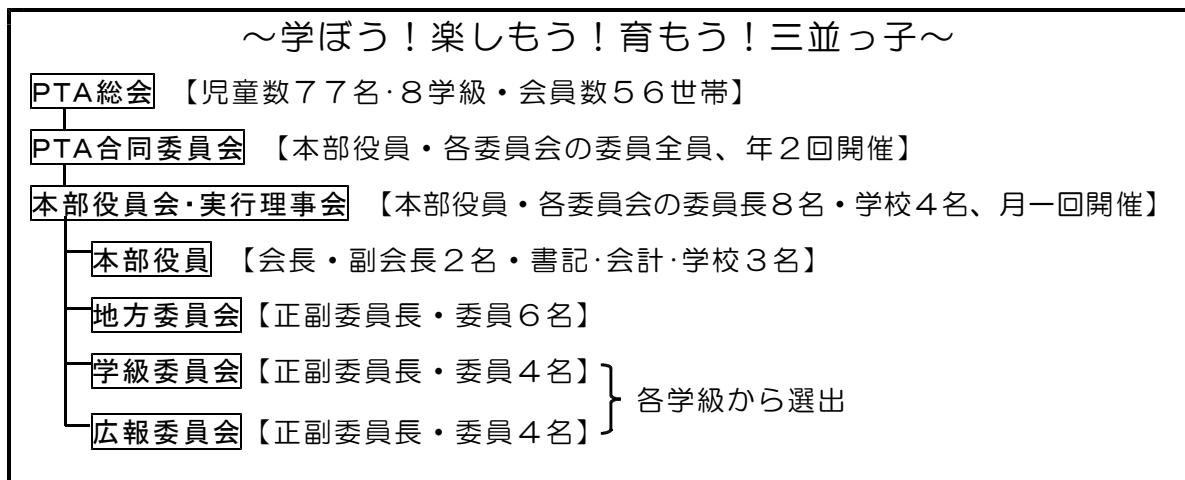


ちくちゃん

三並小学校区は、「食と平和の町」である筑前町の北東部の夜須高原の丘陵地に位置し、美しい自然や自然の恵みに浴している。校区内には「ファーマーズマーケットみなみの里」や「国立夜須高原青少年自然の家」等の施設も多く設置されている。また、三世代家族も多いことや本校を母校としている保護者・祖父母も多く、学校に対する関心とともに、期待も高い。しかし、児童数（世帯数）が年々減少しているという課題がある。

PTA活動としては「かしこく・やさしく・たくましくバランスのとれた子どもの育成」をめざす学校の教育活動に沿って地域との関係を大切にしながら様々な活動を行っている。特に本年度からコミュニティスクールの熟議を経て、地域参加型運動会を実施するなど、地域との結びつきの再構築を図っているところである。

2. PTA活動の組織について



ここ数年のPTA活動の課題として、年々減っていく児童数（世帯数）の中での本部役員・各委員の負担増があった。そこで昨年度、本部役員・各委員の選出方法や活動内容を数年かけて見直していくことになり、まずは、各委員会の活動内容の見直しを本年度から行うことがPTA総会で決定した。

従来の組織では、広報活動は学級委員会の活動内容として他の活動と並行して行っていた。しかし、地域との結びつきを深めるためには、広報活動が大きな役割を持つと考え、他の委員会の活動内容も整理し、広報委員会として独立した組織に改編してスタートした。そして、「広報誌『愛の灯』の充実をはかり、地域に発信する」をPTA活動の重点取り組み項目の一つとして掲げ、PTA会員の協力のもと、取り組みを進めているところである。

3. 広報委員会の活動と広報誌の発行

「活動目標…子ども達やPTAの活動を発信して地域とつながることができるような広報誌づくりに努める。」

○ 広報誌「愛の灯」の発行

広報誌「愛の灯」は、学校行事を中心とした記事と写真で誌面を構成し、印刷を外部業者に委託し、校区全戸（500部印刷）に配布している。本年度も年3回発行（7月・12月・3月）することとし、取材・編集・校正・発行の年間計画を立て、7月号を発行したところである。（B4サイズ4ページ）

○ 手づくり広報誌「愛の灯臨時号」の発行

年間計画を立てるときに目標設定とともに、どんな広報誌を発行していくか検討した。その中で、年3回の広報誌ではどうしても誌面に限りがあったり、発行時期が決まっていたりして、毎年同じような内容になってしまうという課題が出された。そこで、広報誌の配布は各地方長が行っていることを生かして、手づくりにはなるが（予算のことも考慮に入れて）「愛の灯臨時号」を9月に発行することとした。



< B4サイズ表裏白黒印刷 >

内容としては、時期的に載せることができなかった学校行事や今まではあまり記事にすることのなかった日頃のPTA活動を臨時号に載せ、より学校のことを地域に知ってもらおうことをねらって構成した。

初めての取り組みで委員さん達も最初は戸惑った様子であったが、編集が進むにつれて「どうすれば読む人に伝わりやすいか」を考え、レイアウトやコメントを工夫していった。また、手書きイラストやスタンプも加わり第1号が完成した。

4. おわりに

「地域とつながる」ことを目標に活動進めているところであるが、委員さん達の負担を考えるとこれ以上発行回数を増やすことは難しいところがある。地域の方々の記事を掲載したり、学校ホームページを利用したりするなど、内容や方法を工夫していくことが今後の課題である。これからも、広報委員会として「地域一丸となって子育てを行なう意識」を高める広報誌づくりをめざしていきたい。